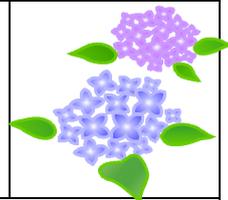




# 長小だより

六  
月



## 子は親の鏡

【タブレットを使って】

木々の若葉がみずみずしく、日差しも強く感じられる季節になり、保護者の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのことと存じます。緊急事態宣言下で、学校での教育活動が制限されている中ですが、子どもたちは、毎日、元気に勉強に運動に一生懸命に取り組んでいます。これもひとえに保護者や地域の皆様のご理解とご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

さて、小学校6年間は、子どもにとって、心身ともに大きく成長する大切な時期です。同時に、保護者の皆様にとっても、子育てに関する悩みなども多い時期ではないでしょうか。自身の子育てを振り返ったとき、心に留め置いていた一編の詩がありますので、ご紹介いたします。今後の子育ての拠り所となり、ちょっとした気づきや学びの機会になれば幸いです。



### 「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
 「かわいそうな子だ」と言っていると、子どもは、みじめな気持ちになる  
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
 広い心で接すれば、キレる子にはならない  
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
 和気あいあいとした家庭で育てば、  
 子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドロシー・ロー・ノルト著『子どもが育つ魔法の言葉』より

(文責 校長 森田浩基)

## ○行事の変更について

すでにお伝えしたとおり、今年度もプールでの水泳指導を中止としました。プールの入る人数を減らしたり、更衣室を増やしたりするなど、密を避けるよう計画を立てましたが、昨今の感染状況を鑑み、中止の判断をいたしました。2年連続となり申し訳ありません。泳ぎ方を動画や教科書で補習をしていきます。また、5年生の野外活動も場所を変更しました。そのため、年間予定でお伝えした日にちから変更となりました。ご迷惑をおかけしますがご了承ください。

## お願い・お知らせ

※6月7日(月)は引き取り下校です。メールの着信後のお迎えをお願いします。今年度は1、2年生のみです。3年生から6年生までは通常通り授業を行い、14時40分の下校となります。ご協力よろしくお願ひいたします。

※暑い日が増えてきました。感染症対策とともに、熱中症にも気を付けさせたいと思います。水分補給のため水筒を持たせてください。また、気温が高いときには、クールネックの使用等、ご家庭の判断で熱中症対策をお願いします。